



街中を探索



町長室を訪れ記念撮影

教育委員会主催の『児童交流活動事業まちなかウォークラリー』が8月1日に静内市街地で開かれ、来年4月に再編予定の静内小・山手小・東静内小学校の3校の児童58人が参加しました。

この事業は、町立学校の円滑な再編の実施に向け、児童の交流を図るも

ので、参加者は6チームに分かれて、各セッションに設けられた問題を解きながら静内市街地を探索し、仲間づくりや交流を深めました。

参加した児童は「街中でクイズや馬の模型などを探るのが楽しかった。他の学校の子と話せて安心した」と話しました。

町立学校の再編整備に向けた児童の交流活動事業

NEWS FLASH

北海道花き品評会(切花の部)で飛渡敬二さんが金賞受賞

北海道花き振興委員会主催の『第42回北海道花き品評会(切花の部)』が7月14日に札幌花き地方卸売市場で開かれ、道内各地から出品された21品目89点の作品のうち、飛渡敬二さん(三石本桐)が出品したダリヤが金賞を受賞しました。

今回で3回目の入賞となった飛渡さんは「花の専門家からの指導、ダリヤ仲間や妻の協力に感謝しています。入賞したことで地域全体の活性化につながるよう、今後もレベルの高い花づくりに努めたいです」と喜びを語りました。



高静小学校の創立150周年で看板の設置や人文字を撮影

高静小学校が今年創立150周年を迎えるため、同校創立150周年記念事業実行委員会(津山浩会長)が7月19日に学校正門に看板を設置したほか、全校児童による人文字の撮影が行われました。

正門には自治会や企業などから寄付を募り製作した看板が、校舎入り口には町内業者が寄贈した看板が設置されました。また、150周年にちなみ、児童らで『150』の数字をかたどった人文字を作り、町内業者が配置の測量やドローンでの撮影に協力しました。

11月には記念式典などが予定されています。



金賞受賞作品

3年ぶりの開催 新ひだか夏まつり

新ひだか夏まつり実行委員会(大野克之会長)主催の『新ひだか夏まつり』が7月11日と14日の両日、静内川右岸緑地公園と総合市民センターなどで感染症対策により規模を縮小して開かれました。

会場では盆踊りや縁日などを楽しむ姿が見られ、夜空いっぱい打ち上げられた花火に歓声が沸き上がりました。



古里懐かしむイチジク 60個もの大きな実を付ける

佐藤城さん、チイ子さん夫妻(静内中野町)が、主に本州の暖かい地域で栽培されるイチジクを育て、60個もの大きな実を付けました。

城さんは、福島県出身で、幼いころに食べた記憶と震災直後に古里を訪れた思い出から、4年前に苗を購入。当初は苗を庭に植え、冬期間はむしろで囲っていましたが、昨年鉢植えにして、12月から2月まで家の中に入れておくと、実を付け、約6センチの大きさに育ちました。

夫妻は「心配し大事に育てました。立派な実を付け、とてもうれしい」と笑顔で話しました。



迫力ある華やかな演奏・演技 道警ふれあいコンサート

札幌方面静内警察署と町防犯協会(出口弘史会長)共催の『道警ふれあいコンサートin新ひだか』が7月17日に総合市民センターで開かれ、町内外から111人が来場しました。

コンサートでは、音楽隊によるアニメ呪術廻戦の主題歌や川の流れのよ

うになど17曲が披露されたほか、特殊詐欺啓発の音楽劇、カラーガード隊のドリル演奏などが行われ、躍動感あふれる華やかな演奏・演技に会場は大いに盛り上がりました。

参加者は「ずっと楽しみにしていました。とても素晴らしいコンサートでした」と話しました。



静内川花火大会



三石会場(縁日)



静内会場(盆踊り)